

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

堺市立鳳中学校
校長 桜田 正明

中学校区におけるめざす子ども像
思いやりを持ち自分も他の人も大切にし、他者を認めることができる生徒

令和6年度 重点目標
「自ら学び、自らを鍛え、自ら行動する」学力・思考力のある生徒の育成
「ともに集団を高めようとする」人間力のある生徒の育成

「確かな学び」の現状	「豊かな心・健やかな体」の現状
全職員が授業力向上の実践に取り組み、学習の基礎基本の確実な定着と、自尊感情や自己肯定感の醸成を図る。 今年度も「生徒指導・学力向上・小中一貫教育の推進・開かれた学校づくり・特別支援教育の充実」を5本柱とした学校経営を行い、学校力の向上をめざす。	それぞれの課題に対して目標を設定し、到達することで自己肯定感を育む。そのことで自分を大切にすると同時に他者も大切にすることを育み、いじめや暴力を否定できる心の醸成を図る。行事や部活動・道徳の授業を通して、豊かな心を育てる取組を行う。地域や社会で自立して生きるための基礎を中学校卒業までに長期目標とする。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	学力向上	学力・学びの基礎力・社会的実践力の育成	授業規律の確立による「総合的な学力」の育成	「授業はわかりやすく楽しい」の肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 各種アンケート等	年度末	○ 年度末に向けてよく達成できている。	△	・「授業はわかりやすく楽しい」の肯定的回答が74%である。	○	・授業規律が確立され、概ね静謐な教育環境が保たれていると感じる。
			「主体的・対話的で深い学び」の積極的な展開	「聞いたり、教えたりすることがある」肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 各種アンケート等	年度末	○ 年度末に向けて概ね達成できている。	◎	・「聞いたり、教えたりすることがある」の肯定的評価は88%に達した。	◎	・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が高いので安心できる。
	授業改善	指導方法の工夫改善と安全・安心な学びの場づくり	生徒用端末を活用した課題解決力の育成	前年度より生徒用端末活用率の向上をめざし、効果的に進める	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・これからも生徒用端末活用率の向上をめざし、課題解決能力の育成を進めていきたい。	○	・これまで以上に生徒用端末を活用した積極的な授業展開を進めてほしい。
			授業の工夫改善と授業参観などの活性化	授業参観等、教育活動を参観する機会をより多く設ける	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	◎	・「学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を設けている」の肯定的回答が100%である。	△	・地域に向けて、オープンスクール等教育活動を参観する機会を増やしてほしい。
			少人数（習熟度）指導や補充学習の充実	習熟度指導や補充学習を活用し、肯定的評価を60%以上にする	学校教育アンケート 各種アンケート等	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・「少人数授業は全員での授業より理解しやすい」の肯定的回答が65%である。	○	・先生と生徒の適切な距離感の違いやむずかしさを感じることもある。
	豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	いじめを許さない（見逃しゼロ）仲間づくり	「先生は親身になって応じてくれる」の肯定的評価を70%以上にする	学校教育アンケート 教育相談・調査報告	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的回答が77%に達している。	◎	・「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」の肯定的回答が高く、雰囲気の良いを感じる。
			家庭・地域との連携による自己肯定感の向上	「クラスには自分の居場所がある」の肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 実践報告	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・「クラスには自分の居場所があると思う」の肯定的回答が89%である。	○	・地域行事（祭り等）への積極的な参加を進め、これからもつながりを強めていきたい。
			正しい行動ができる道徳心・社会性の取得	「挨拶を以前よりするようになった」の肯定的評価を70%以上にする	学校教育アンケート 実践報告	毎学期 および年度末	△ 2学期末段階では十分達成できていない。	○	・「自分からあいさつをしている」の肯定的回答が79%である。	○	・地域での迷惑行為や蟻集行動は少なくなっているように思う。
		体力向上	部活動への参加による連帯感・達成感の向上	「部活動に積極的に取り組んでいる」の肯定的評価を70%以上にする	全国体力・運動能力、運動習慣等調査等	年度末	◎ 年度末に向けてよく達成できている。	○	・「部活動に積極的に取り組んでいる」「部活動は活発である（保護者）」の肯定的回答が概ね7割以上に達している。	○	・部活動が活発であり、また地域への貢献活動にも感謝している。
			かけがえのない命の大切さの学び場づくり	テーマを決めて「健康管理ができた」の肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 実践報告	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・テーマを決めて「健康管理ができた」の肯定的回答が、82%に達している。	○	・部活動に積極的に参加することにより、自己肯定感の醸成につながっていると思う。
地域協働	相互連携	小中一貫した教育の推進とめざす子ども像の共有	小中連携による「つながる教育」の活性化	小中合同研修等を通して授業実践交流や情報交換・共有を行う	学校教育アンケート 小中合同実践報告等	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともに概ね達成できている。	○	・小中合同研修会や小学生による中学校体験を通じて共通理解が深まっている	△	・保護者対象のアンケート回収率（サンプル数）が低いので、工夫してもらいたい。
			教育方針や教育活動についての確かな情報公開	随時、学校ホームページや学校・学年だよりなどで情報発信に努める	学校教育アンケート 各地域協議会報告等	毎学期 および年度末	○ 1・2学期ともによく達成できている。	○	・「学校が保護者に出す文書や事務連絡等は適切である」の肯定的回答は84%である。	○	・時代に応じた道徳観や価値観の違いを認識していく必要があると感じている。、

校長より（年度末） ・異動初年度でもあり、手探り状態の中で迎えたスタートであったが、「学校へ行くのが楽しい」の肯定的回答が82%の結果を得ている。 本校では教職員が指導方法の工夫改善に取り組み、新学習指導要領の理念に沿って「教師が教え込む授業」から「子どもが考える授業」への変換を図っている。 これからも生徒たちの人間関係の構築や学校生活に対する不安解消に向けて、日頃からの声掛けやカウンセリングの充実などを進めていきたいと考えている。 今年度の課題（わかりやすく楽しい授業の推進等）を真摯に受け止め、より安心かつ安全な学校教育活動の実現に向けて、積極的に取り組んでいきたいと思う。	学校関係者評価者から（年度末） ・思春期特有の悩み（人間関係など）や相談（学習面や進路など）には、学校、家庭、地域が共通理解し、連携を進める必要があると認識している。 ・地域との取組や活動など、関わりが復活していくことは非常に喜ばしいことである。
---	---